

# 国際ロータリー第2710地区2015-16年度 地区補助金 報告書

## プロジェクトの概要

国際ロータリー第2710地区宇部ロータリークラブ(写真1, 2)は、平成27年9月3日午後より市内にある特定非営利活動(NPO)法人「ぐうですぐう(good です good)」(理事長 西川浩子 写真1)に2015-2016年度地区補助金を使って、農機具保管庫(5.2m×2.2m×2.0m 写真3)を寄贈した。NPO法人ぐうですぐうは、①新しい価値の創造、すなわち障害のある人たちが持つ能力を生かして社会価値を創造し、地域と共存することを支援する団体です。障害者の人たちが学習や就労の機会を通じて、社会における自分の価値を発見し、実現し、彼らの生み出す商品やサービスによって人々に喜びを提供し、そこからの収入は彼らの生活を豊かにします。同時に、②地域循環型福祉をめざし、障害のある人たちが、地域とともに社会経済的な価値創造の循環と連鎖を作っていく福祉を目指しています。このため、レストラン(写真4)を本年6月より開店して一般の人々と交流しています。レストランの中では障害者の方々が制作した工芸品の販売が行なわれています。また、レストランで出されるメニューの食材はNPOが所有する畑からとれた無農薬野菜を使っています。この自営の農園で使う農機具が種々あるのですが、これを収納する場所がなく、困っておられたのでこの度、農機具保管庫を寄贈しました。理事長を始め関連の方々に大変喜ばれました。



写真1. 目録贈呈 (西川理事長、橋本会長)



写真2. ぐうですぐう役員と宇部ロータリークラブ



写真3. 贈呈した農機具保管庫(猪熊理事、西川理事長)



写真4. ぐうですぐう直営レストラン

**宇部RCが倉庫寄贈**  
ぐうですぐう、農機具保管に活用  
宇部ロータリークラブ 川浩子理事長に農機具(齋藤博会長)はのほ 保管倉庫を寄贈した。ど、国際ロータリーの地 贈呈式は、同法人の片区補助金を使って、NP 倉事業所で実施。齋藤会O 法人ぐうですぐう(西 長は幹事ら6人と訪れ、



倉庫前で笑顔を見せる宇部ロータリークラブ、ぐうですぐうの関係者ら (Goo TAG College あすとびあで)

「今後の発展をお祈りしている」と目録を手渡した。西川理事長は感謝の言葉とともに「障害のある人たちの能力を最大限に生かして、地域に根差した活動を続けていく」と決意を述べた。  
同法人は障害者に就労機会を提供するため、カフェ経営、加工食品の製造などを手掛ける。安心・安全な商品を目指して農業にも取り組み、あすとびあ3丁目の「Goo TAG College あすとびあ」内に畑を所有。幅5・2m、高さ2.0m、奥行き2mほどと大容量の倉庫は、農機具や収穫物の保管場所として活用するという。(重岡)

感謝状

宇部ロータリークラブ 様

貴クラブは当法人の障害者支援事業に対し温かいご理解のもと倉庫一式を寄贈され当事業の円滑な運営に多大なるご貢献を賜りました。よってここにそのご厚意に対して深く感謝の意を表します

2015年9月3日

特定非営利活動法人ぐうですぐう  
理事長 西川浩子